

## 松仙園地区適正利用推進計画に基づく利用ルール情報発信計画（案）

### 1. メディア及び関係者を通じた開通に関する当初の発信（令和2年6月）

- メディアを及び大雪山国立公園に関係する幅広い関係者に周知して、新たに作成される地図や資料等に利用ルールが盛り込まれるようにする。

#### <具体的な取組>

- ①報道発表（上川記者会投げ込み、旭川市政記者会記者レク（説明））
  - ②大雪山国立公園連絡協議会及び登山道維持管理部会のメンバー、その他関係者への報道発表資料の配布、展開
  - ③ヤマケイオンラインなど、登山関係情報ページに報道発表資料の提供
  - ④開通記念登山会の実施（7月14日予定）と同登山会のメディア取材を通じた発信
- ※普及啓発素材【1】を活用

### 2. 登山者に対する段階別発信

#### (1) 事前の登山計画検討のための情報収集に対応した発信

- 登山者がインターネットを通じて、事前に情報を収集し、登山計画を検討する際に、松仙園登山道の利用ルールにアクセスできるようにする。

#### <具体的な取組>

- ①大雪山国立公園登山情報における発信<<http://www.daisetsuzan.or.jp/trail-news/>>  
※主な対象：インターネットで「大雪山 登山」「松仙園」等で検索する一般登山者  
※普及啓発素材【2】【3】を活用
- ②大雪山国立公園連絡協議会 facebook での発信<<https://www.facebook.com/daisetsuzan/>>  
※主な対象：大雪山のファンで本 facebook ページを見る登山者（※壮年～中高年）  
※定期的、継続的に発信する。  
※普及啓発材【2】【3】を活用。

#### (2 次的な展開)

- ③上記①②について、次の機関、団体のホームページで固定的に掲載して発信。  
上川町役場、層雲峡ビジターセンター、東川町役場、旭岳ビジターセンター、愛山溪倶楽部（りんゆう観光）、層雲峡観光協会、  
その他松仙園地区適正利用推進協議会構成員のホームページや発信媒体等

## (2) 大雪山国立公園に来た登山者への発信

- 大雪山国立公園を訪れた登山者に現地で発信する。松仙園の利用ルールを知らないまま来訪した登山者に、ルールを周知する。また、事前にインターネットで情報を得た登山者には詳細を、再確認をしてもらう。

### <具体的な取組>

- ①層雲峡ビジターセンター、旭岳ビジターセンター、ひがし大雪自然館における発信
  - ※普及啓発素材【3】【4】を掲出。
  - ※展示に登山地図が含まれる場合は利用ルールに関する情報を明記する。
- ②その他、利用者が立ち寄る次の施設での発信
  - 層雲峡黒岳ロープウェイ、旭岳ロープウェイ、その他観光案内所等
  - 大雪山国立公園内の登山口に設置されている案内看板（地図に松仙園が含まれている箇所すべて）
  - ※普及啓発素材【3】を掲出。

## (3) 愛山溪温泉（登山口）に来た登山者への発信

- 松仙園の利用ルールを知らないまま来訪した登山者を含め、すべての登山者にルールを周知して、確認を促す。

### <具体的な取組>

- ①愛山溪温泉の案内看板、三十三曲方面分岐の案内看板、松仙園登山口の案内看板による周知
- ②愛山溪倶楽部、愛山溪ヒュッテでの周知
  - ※普及啓発素材【3】【4】を掲出。
  - ※施設職員には利用ルールを御理解いただき、問合わせ等にご対応いただく。

### 【普及啓発素材】

- 【1】報道発表資料
- 【2】環境省ホームページ<<http://www.env.go.jp/park/daisetsu/data/riyousuishinkyou.html>>
- 【3】チラシ（紙媒体、PDF）
- 【4】ポスター（紙媒体、PDF）※チラシの表面

# 大雪山国立公園 松仙園 登山道利用案内

Daisetsuzan National Park Shosenen Trail Guide Map



松仙園は原始的な雰囲気が残された特別な場所として、  
大雪山国立公園松仙園地区適正利用推進計画に基づく利用ルールが定められています

Usage rules are established to protect the pristine atmosphere of Shosenen



松仙園登山道は  
登り一方通行  
The Shosenen trail is a  
one-way uphill course.

愛山溪登山口から先、  
車両は進入できません

開通期間：7月14日～9月30日  
Trail open period: July 14th - September 30th  
※災害等により変更となる場合もあります

**大雪山グレード** Daisetsuzan Grade

- グレード2 『大雪山の自然とふれあう軽登山ルート』  
Grade 2 Trails to touch beautiful nature.
- グレード3 『大雪山の自然を体感する登山ルート』  
Grade 3 Trails to experience beautiful nature.
- グレード4 『大雪山の厳しい自然に挑む登山ルート』  
Grade 4 Trails with challenging terrain.

**凡例** Legend

- 道路 Road
- 林道 Forest Road
- トイレ Toilet
- 展望地 View Point
- 宿泊施設 Accommodation
- 温泉 Onsen (Hot springs)
- ゲート Gate
- 通行止め Road Closed
- 一方通行 One Way
- 湿原 Marshland
- 池塘 Pond

## 松仙園登山道の利用のルール

## Usage rules of Shosenen Trail

### 湿原の植物を保護するために

- 登山道は毎年7月14日から9月30日まで利用可能です。雪融けや降雪時期など湿原植生を傷めやすい期間は供用しません。
- 登山道は登り一方通行です。登山による歩道及び植生の荒廃を最小限に抑えるため、歩道や植生に与えるインパクトの少ない登り一方通行とします。
- 木道やロープ柵の外側には踏み出さないでください。先を行く登山者を追い越すときも、踏み出さないでください。追い越される登山者が、木道基礎の横木に足をかけて譲ってください。

### The Shosenen trail is a one-way uphill course.



In order to protect the vegetation and maintain a pristine atmosphere, facilities have been kept to the minimum necessary; from here the climb becomes a one-way course towards the Yashima Junction. The trail cannot be used to go back to the trailhead. It cannot be used for descending. In addition, please cooperate with the following rules to protect the vegetation of Shosenen.

### 湿原を外来種から守るために

- 登山口ゲートに備え付けのブラシで靴底の土を落としてください。

### ヒグマに出会わないために

- 鈴や笛を必ず携帯してください。
- 集団で行動し、残飯・ごみなどは必ず持ち帰ってください。
- ヒグマに出会っても、走って逃げたはいけません。ヒグマから目をそらさずにゆっくり後退し、離れるようにしてください。写真を撮るために近づくことや、フラッシュを使った撮影は危険です。

- Do not step outside of the trail or the rope fence.
- Be careful not to step on the marsh even when overtaking hikers on the trail. People who are being passed by another hiker should let them pass by standing on the wooden cross-pieces of the wooden path foundation.
- Please clean the soles of your shoes well so that seeds of alien species of plants are not brought in to the area. Also, please check carefully that seeds have not become attached to clothing and shoelaces, and remove them if they are attached.

### Please take countermeasures against brown bears.

- Be sure to carry out actions in groups and carry whistles, bells, etc.
- Carry out leftover food, garbage, etc.
- If a brown bear is encountered, do not escape by running away. Slowly retreat and leave without diverting your eyes from the brown bear. It is dangerous to approach bears to take pictures or to shoot photos with a flash.

### ドローンについて

原始的な自然の雰囲気を保護するために、ドローンを飛行させることは望ましくありませんが、学術研究その他で飛行させることが必要の場合は、上川総合振興局南部森林室に連絡し、入林承認申請等の手続きをとってください。

# ●●● 松仙園登山道のみどころ ●●●



夏の湿原風景

溶岩台地上に広がる湿原の向こうに、大雪山の主峰・旭岳がそびえる風景は松仙園ならではの。夏の湿原では、ツルコケモモ、ヒメジャクナゲ、ヒツジグサ、ワタスゲといった湿原特有の植物がみられます。



ヒツジグサ



ワタスゲ



秋の紅葉

日本で一番早い紅葉と言われる大雪山。針葉樹の緑と落葉、広葉樹の朱色や黄色など、微妙に異なる色が折り重なる中に、空の色を映す池塘が点在する様子は松仙園ならではの絶景です。運が良ければ初冠雪と紅葉を同時に見ることができるともいけません。



樹齢数百年でも小さい  
アカエゾマツの老木

登山口から樹林帯を抜けて溶岩台地の上に出ると、背の低い変わった形をしたアカエゾマツが点在しています。これは吹きつける強い風の影響を受けて、幹や枝が風向きに沿うように風下側へ傾いたり曲がったりしたものです。厳しい環境の下でアカエゾマツは必死に生き続け、中には樹齢数百年を数えるものもあります。



自然性の極めて高い証拠  
四の沼のケルミ・シュレンケ

北海道大学大学院農学院植物生態体系学研究室提供

四ノ沼の展望地から見える湿原の縞模様は、等高線にそって帯状に並んだ湿原の表面の凸凹によって形作られています。泥炭でできた帯状の凸地をケルミ、凹地をシュレンケと呼び、凸凹が一体となっていることからケルミ・シュレンケ複合体とも呼ばれています。このような湿原の縞模様は、大雪山ではこの場所で見ることができません。

## ●●● 愛山溪温泉

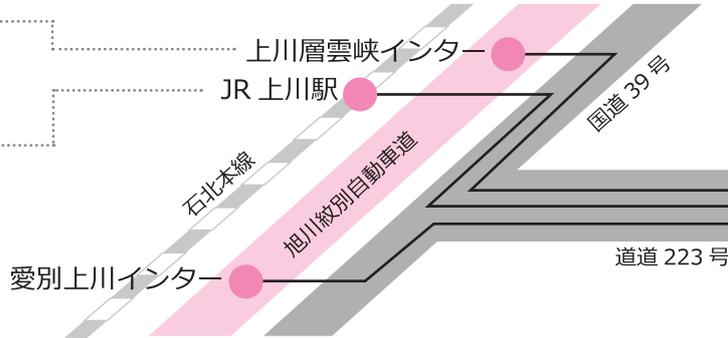
大雪山国立公園の中、  
100%源泉かけ流しの秘湯宿。

- 【温泉】源泉温度 44.2℃、ph6.3(中性)
- 【泉質】ナトリウム・マグネシウム - 炭酸水素塩・硫酸塩泉(低張性中性高温泉)
- 【日帰り入浴時間】10:00~20:00(最終受付19:30)  
大人 ¥600 子供(6-12歳) ¥450

大雪山では  
珍しい茶色のお湯です。



- 上川層雲峡インターから  
約 25km、車で約 50 分
- JR 上川駅から  
約 25km、車で 50 分、  
タクシー約 6,500 円程度
- 愛山上川インターから  
約 21km、車で約 45 分



愛山溪温泉までの  
アクセス

愛山溪温泉



■ 松仙園登山道は、毎年7月14日～9月30日の間通行できます

松仙園は極めて自然度の高い、原生的な自然が残された湿原です。大雪山国立公園松仙園地区適正利用推進計画に基づき利用のルールが定められ、2020年7月14から松仙園に至る開通しました。愛山溪温泉から松仙園を通り、愛山溪温泉に戻る場合、約5時間のコースになりますが、次のルールを順守することができ、登山の知識・技術を持つ人だけが、行くことができる特別な場所です。



## ■松仙園登山道 5つルール



- 毎年7月14日から9月30日まで利用可能です。

雪融けや降雪時期など湿原植生を傷めやすい期間は利用できません。利用できない期間は、ゲートにロープが張られます。



- 登り一方運行です。

登山による歩道及び植生の荒廃を最小限に抑えるため、歩道や植生に与えるインパクトの少ない登り一方通行とします。



- 木道やロープ柵の外側には踏み出さないでください、先を行く登山者を追い越すときも、踏み出さないでください。追い越される登山者には、木道基礎の横木に足をかけて道を譲ってください。



- 入り口ゲートでは、ブラシで靴についた植物の種を落としてください。

外来種を湿原内に持ち込まないように、登山ロゲートに備え付けのブラシで靴底の土を落としてください。



- ヒグマ対策をしてください。
  - 鈴や笛を必ず携帯してください。
  - 集団で行動し、残飯・ごみなどは必ず持ち帰ってください。
  - ヒグマに出会っても走って逃げてはいけません。ヒグマから目をそらさずにゆっくり後退し、離れるようにしてください。
  - 写真を撮るために近づくことや、フラッシュを使った撮影は危険です。

### ドローンについて

原生的な自然の雰囲気を保護するために、ドローンを飛行させることは望ましくありませんが、学術研究その他で飛行させる必要がある場合は、上川総合振興局南部森林部に連絡し、入林承認申請等の手続きをとってください。

■松仙園登山道は大雪山グレート4「大雪山の厳しい自然に挑む登山ルート」です。

松仙園登山道入り口～二ノ沼・三ノ沼湿原、二ノ沼・三ノ沼湿原～四ノ沼湿原、四の沼湿原～雪田植生の区間は、大きな岩の段差、ぬかるみ、沢の徒渉などがあり、歩きにくく難易度が高い登山ルートです。

万全の登山装備をし、十分な水と食料をもって行ってください。

足元は、登山靴とスパッツ(または、長靴)を準備してください。



ぬかるみ。時期や場所によっては、深い水たまりがある(登山口～二ノ沼の区間)



わかりにくい道(特に雪解け直後の開葉前)、岩場。雪が多い年は雪渓トラバースになる(二ノ沼～四ノ沼の区間)



大きな岩の段差(登山口～二ノ沼の区間)



滑りやすい急斜面(登山口～二ノ沼の区間)

## ■松仙園登山道の見どころ

### 夏の湿原風景



湿原台地上に広がる湿原の向こうに、大雪山の主峰・尾岳がそびえる風景は松仙園ならではです。夏の湿原では、ツルコケモモ、ヒメシャクナゲ、ヒツジグサ、ワタスゲといった湿原特有の植物がみられます。

### 樹齢数百年でも小さい アカエゾマツの老木



登山口から樹林帯を抜けて湿原台地の上に出ると、背の低い変わった形をしたアカエゾマツが点在しています。これは吹きつける強い風の影響を受けて、幹や枝が風向きに沿うように風下側へ傾いたり曲がったりしたものです。厳しい環境の下でアカエゾマツは必死に生き続け、中には樹齢数百年を数えるものもあります。

### 秋の紅葉



日本で一番早い紅葉と言われる大雪山。針葉樹の緑と落葉、広葉樹の朱色や黄色など、錯彩に異なる色が折り重なる中に、空の色を映す池邊が点在する様子は松仙園ならではの絶景です。運が良ければ初雪山と紅葉を同時に楽しむことができますかもしれません。

### 自然性の極めて高い証拠 四の沼のケルミ・シュレンケ



四ノ沼の展望地から見える湿原の精霊橋は、等高線にそって帯状に並んだ湿原の表面の凸凹によって形作られています。泥炭でできた帯状の凸地をケルミ、凹地をシュレンケと呼び、凸凹が一体となっていることからケルミ・シュレンケ複合体とも呼ばれています。このような湿原の精霊橋は、大雪山ではこの場所で見ることができません。

## ■松仙園登山道最新情報

[大雪山国立公園登山情報](#) をチェックしてください。

愛山溪温泉、松仙園登山口にも案内標識がありますので、登山情報を確認してください。

## ■参考情報

[松仙園地区適正利用推進計画](#)(利用ルールの根拠)

[松仙園地区適正利用推進協議会](#)(利用ルールの決定、植生保護モニタリング結果の評価など)

## ■アクセス・温泉情報

●●● **愛山溪温泉** ..... 大雪山国立公園の中、100%源泉かけ流しの秘湯宿。

【温泉】源泉温度 44.2℃、pH6.3(中性)  
【泉質】ナトリウム・マグネシウム・硫酸水素塩・硫酸塩泉(低張性中性高温泉)  
【日帰り入浴時間】10:00~20:00(最終受付19:30)  
大人 ¥600 子供(6-12歳) ¥450

大雪山では珍しい茶色のお湯です。



### 愛山溪温泉についての情報(上川町HP)

●上川層雲峡インターから  
約25km、車で約50分

●JR上川駅から  
約25km、車で50分、  
タクシー約6,500円程度

●愛山上川インターから  
約21km、車で約45分

上川層雲峡インター  
JR 上川駅  
石北本線  
旭川発別自動輸送  
国道39号  
道道223号  
愛山溪温泉までのアクセス  
愛山溪温泉

**問い合わせ先** 環境省上川自然保護官事務所  
〒078-1741 北海道上川郡上川町中央町 603 TEL:01568-2-2574

削除: [上川町HP](#) .

↑ ページ先頭へ

